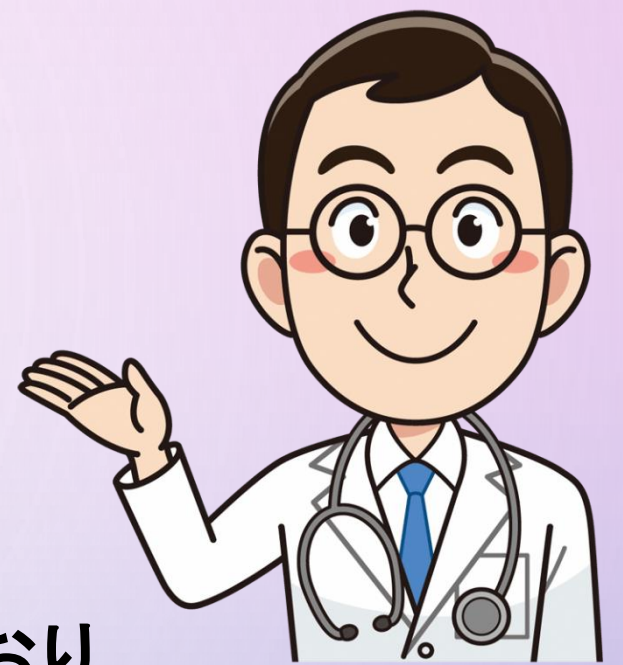


新型コロナウイルス感染症に対する 抗体カクテル療法について

- 1 抗体とは
- 2 抗体カクテルとは
- 3 抗体カクテル療法の効果
- 4 抗体カクテル療法の注意点

はじめに



こんにちは。相双保健所長の 堀切 です。

10月に入り、全国的に感染者数が減少しており、

少しずつですが、落ち着きを取り戻しつつあると感じます。

本日は、新型コロナウイルス感染症に対して有効性が示され、本県でも使用されている**抗体カクテル療法**(以下、本治療と略)についてお話しいたします。

1 抗体とは(1)

- 抗体とは、生体の免疫機構のひとつであり、**一種のタンパク質**です。
- わたしたちの体内に、ウイルスなどの外敵が侵入してきた際、これに**抗体が付着することにより**、外敵そのものを無毒化したり、外敵を捕食する細胞(好中球やマクロファージ)が**外敵を素早く発見するための目印**になったりします。
- 新型コロナウイルスに対する抗体が存在していれば、体内に新型コロナウイルスが侵入してきたとしても、ウイルスが増殖して症状が悪化する前に、**体内からウイルスを排除できる可能性が高くなります**。

1 抗体とは(2)

- この抗体は基本的に、1種類の対象物にしか付着することができません。
- わたしたちは、生活する過程で様々な外敵に晒され、その都度、多種の抗体を作り、その情報を体内に蓄積させています。そのため、過去に出会ったことのある外敵と遭遇しても、過去の情報により、すぐに抗体を作り出して対応することができます。一般的に「抵抗力がある」と表現されるのは、このことを指します。一方、わたしたちが**未知の外敵と遭遇した場合**、相手の情報を得てから抗体を作りますので、**外敵に対応できるまでに時間がかかってしまいます**。それまでに症状が悪化してしまうこともあります。
- 前回のお話で説明しました**ワクチン**は、生体に前もって新型コロナウイルスに対する情報を与えるためのお薬、すなわち、体が抗体を作るための情報を与えてくれるものであり、**ウイルスそのものに対応するお薬ではありません**。

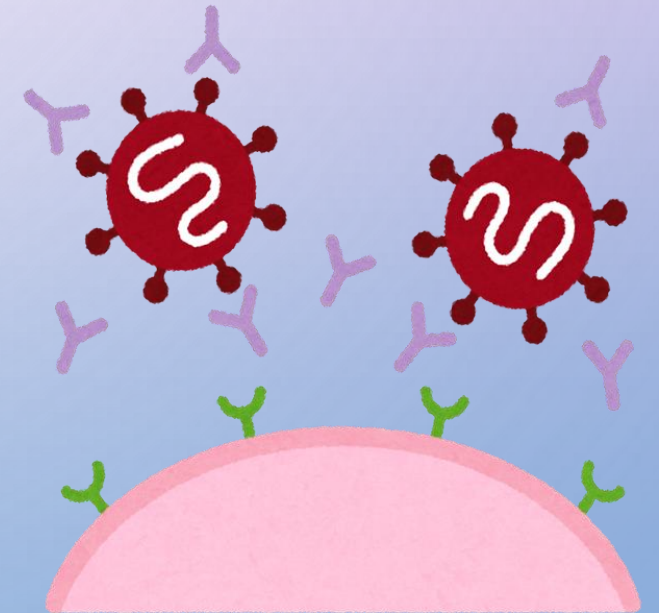


2 抗体カクテルとは

- ここで使われる、「カクテル」という用語は、「混合させたもの」という意味で使われています。つまり、複数の抗体を混合させてできたお薬である、ということになります。
- 今回使用されることになったこの抗体カクテルは、「カシリビマブ」と、「イムデビマブ」という名づけられた抗体を混合したもので、これらは新型コロナウイルスに付着して、わたしたちに元々備わっている免疫機能が、早期から効果を発揮することを助けてくれます。このお薬の一般名が「ロナプリーブ」です。
- 従来、新型コロナウイルス感染症に使用できる抗体薬はこの一種類のみでしたが、令和3年9月27日より、同様の作用を持つ抗体、「ソトロビマブ」も本邦で使用することが認可されました。このお薬の一般名は、「ゼビュディ」です。

3 抗体カクテル療法の効果

- 点滴により投与された抗体は、体内に侵入している**ウイルスに結合し**、それによって**ウイルスの増殖が抑えられます**（このような効果のある抗体を、「中和抗体」と呼んでいます）
- このため、体内に侵入したウイルスの増殖が進んでしまっている場合、すなわち**重症である場合は**、本治療の効果は**あまり発揮されない**ため、別な治療を行うこととなります。
- 現在、**本治療を行う対象になる方は**、**重症化するリスクがあり**、かつ、**軽症・中等症(酸素の投与の必要がない状態)**で、**発症から7日以内の場合**、と定められています。
- **無症状の方**に対しては、**治験(薬が人間にも有効かどうか調査する試験)**が行われていないので**治療の対象外**です。



4 抗体カクテル療法の注意点

- 本治療を行う場合は、初期のころは必ず入院が必要でした。これは、新しい薬であり、万一、投与によって重篤な副反応が発生してしまった際、速やかな対応が必要となるためです。
- その後、外来や往診でも本治療が行えるような体制を整備されたため、現在では、**ロナプリーブ**は**外来や往診でも使用可能**とされました。一方、**ゼビュディ**は、使用開始されてから日が浅いため、**入院での使用に限定**されています。
- 本治療の**副作用**は、**吐き気、発疹、発熱**などが報告されています。なお、本治療は11歳以下の小児には行うことができません。

参考文献

- 塚原ほか. 特集COVID-19 薬剤開発・薬物治療. 東女医誌91(1)P19-28.2021
- 厚労省ホームページ. [HTTPS://WWW.MHLW.GO.JP/INDEX.HTML](https://www.mhlw.go.jp/index.html)
- 厚労省事務連絡令和3年7月20日(9月28日修正)
- BERNAL JL ほか.EFFECTIVENESS OF COVID-19 VACCINES AGAINST THE B.1.617.2 (DELTA) VARIANT. N ENGL J MED. JUL 21 2021
- KRANTZ MS ほか. SAFETY EVALUATION OF THE SECOND DOSE OF MESSENGER RNA COVID-19 VACCINES IN PATIENTS WITH IMMEDIATE REACTIONS TO THE FIRST DOSE. JAMA INTERN MED. JUL 26 2021